

「著作権教育研究協力校」に関する指導事例

別紙2

<国語科より>

実践1「情報収集及び情報活用にかかわって」

	学習の流れ	著作権に関わる指導
導入 課題	○作品例を示す。 よりよい作品を目指して、自分の主張と結びつけて、引用する事実を取捨選択しよう。	※「構成」「事実の引用の仕方」「叙述」「題名」の視点で豊かなものを示し、生徒の興味・関心・意欲を高める。
展開	○自分の主張に必要な情報をネット上で検索する。 ○作品構成表や構成カードを推敲する。	【留意点】 ・ 情報源を明示させる。 ・ 情報の確かさについて吟味させる。
終末	○「主張がより伝わりやすくなったか」の視点で自分の構成を振り返る。	・ 表現をコピー&ペーストしないようにさせる。
成果と課題 ○ネット上の情報についても、「一つの作品」という意識をもって見つめることができていた。 ▲事実だけでなく、安易に表現までも引用してしまう実態がある。		

実践2「情報収集及び情報活用にかかわって」 教材「マスメディアを通した現実世界」

	学習の流れ	著作権に関わる指導
導入 課題	○教材を読む。 マスメディアとのかかわりについての筆者の主張を読み取ろう。	※情報社会に生きる一人としての自覚をもたせ、教材に書かれていることと自分自身の経験を結びつけて考えるように指導する。
展開	○一人読みを行う。 ○読み取ったことを交流する。 ・「情報の受け手として」「情報の伝え手として」 ・情報を鵜呑みにしてはいけないという筆者の主張 ○「自分にとってマスメディアとは」を交流する。	※単に「受信」だけではなく、「発信」の立場になることも考慮させる。
終末	○「マスメディアをどのように活用していくのか」の視点で学習のまとめを書く。	
成果と課題 ○自分の生活を見つめ、情報社会に生きる一人としての自覚を高めることができた。 ▲氾濫した情報の中に潜む危険性についての認識はまだ弱い。		

実践3「作品の著作権の保護などにかかわって」 教材「作品創り」「鑑賞交流会」

	学習の流れ	著作権に関わる指導
導入 課題	○校内ホームページ上に自分の作品をアップする。 相手意識をもって、互いの作品のよさを学び合おう。	※イントラパケッツ及び、校内ネットワークの安定確認。
展開	○イントラパケッツの「作品紹介」を見て、興味をもった仲間の作品を鑑賞する。 ○鑑賞交流を通して仲間から学んだことを元にして、自分の作品を推敲する。	【留意点】 ・ 相手意識を大切にしたい紹介ページを作成させる。 ・ 仲間の作品を大切に取り扱い扱うように指導する。
終末	○「交流を通して仲間から学んだこと」の視点で学習のまとめを書く。	
成果と課題 ○イントラパケッツを利用して、限られた時間の中で有効に仲間の作品を鑑賞することができた。家庭からも見られるため、鑑賞としての幅が広がったように思う。 ○今後の「校内ライブラリー」としての活用も含め、発表の場が広がったため、今までよりも相手意識をもって、作品を創ろうとする姿が見られた。 ▲ネット上に保存する技術面の不足の問題や、誰もが勝手に触れるといったマナー上の問題についての指導をさらに徹底する必要があると感じた。		

<数学科より>

選択数学3年発展での実践例

	学習の流れ	著作権に関わる指導
導入 課題	○楽しく学ぶ数学プロジェクトのE-learningコンテンツを利用する。 どの単元に取り組むかを考え、自分の弱点を克服していこう。	
追究	○1時間ごとに問題が、基本A, B, 応用Aの3種類あることを確認する。 これらの問題は、楽しく学ぶ数学プロジェクトの参加メンバーの先生方が独自で開発したものであり、著作権が「楽しく学ぶ数学プロジェクト」に帰属していることを確認する。 Webを利用して、問題に取り組む。	複製・加工の利用範囲をホームページから確認する。 ★次の場面での利用は認められておりますので、ご活用ください。

発展	○一部の問題を改良して、オリジナル問題を作り上げていこう。 Linux のコンピュータを利用して、自分のオリジナル問題を作成し、お互いに解いて、学習内容の理解を深めていく。	(1) 学校教育法一条による学校内での教育利用 (教師による教材作成、児童生徒による学習成果物等への複製や加工しての取り込み) (2) 公立の教育センター等内での教員研修での利用 (教材作成実習等)
成果と課題 著作権を意識し、コンテンツによっては、複製や加工を許可している場合がある。それを理解することができた。 個人が加工した問題の著作権が、どこに帰属するのかを確認しきれない部分があった。		

<理科より>

3年「エネルギー」の学習から

	学習の流れ	著作権に関わる指導
導入 課題 追究 まとめ	○風力発電の写真を見る 新エネルギーにはどんなものがあるだろうか ○新エネルギーの種類とその利点、欠点を調べる。 図書やネット上で検索する。 ○新エネルギーの特徴をまとめ、自分の考えと共に、レポートにまとめる。	調べた内容や写真をそのまま写すことは著作権上違法であることを伝え、引用を載せることを伝える。
成果と課題 ○安易に、写真などをインターネットから写すのではなく、著作権を意識し、引用を載せて、活用することができた。		

<英語科より>

	学習の流れ	著作権に関わる指導
導入	○全国大会のスピーチ原稿集を見る。 その中の本校3年生の先輩のスピーチを読む。 ○さらに、自分が読んでみたいトピックのスピーチを刷り増ししてじっくり読む。	

課題	○ 感想を交流しあう。 ・ トピックが面白いから読んでみたくなる。 ・ 身近なことだけど、目のつけるところがかわっていて面白い。 ・ それほど難しい英語は使っていない。 ○ 自分が書いてみたいと思うトピックを考えてみる。 ○ スピーチを書く時の注意を聞く。	○ スピーチの内容が3分の1以上、他からの引用であってはならないこと、他の大会で使った自分の原稿でも、もう一度読むことはできないということを確認する。それは、一度、大会で読んだスピーチの原稿の著作権は、大会主催者側にあるからであることを確認させる。
追究	弁論原稿は、生徒自身の意見・主張をまとめたものとし、他より3分の1以上引用した場合は、失格となる。他大会で用いた原稿は使用できない。(弁論大会要項より) ・ スピーチの原稿に引用してもいい限度 ・ 自分のスピーチなら何回でもいいの？ ○ 引用したい詩や、歌の歌詞も、量を考えながら、原稿を考える。一番大事なのは、格好いい言葉を言うのではなくて、自分の言いたいことを自分の言葉で言うことだということを実感しながら、スピーチの原稿制作にとりかかる。	
まとめ		
成果と課題	○ スピーチの原稿を書く時に、「なぜ、真似をしてはいけないのか、なぜ、3分の1までだったらいいのか。」という意識を考えていくことによって、自分の気持ちを主張することに意義があることをもう一度確認しあうことができた。 ○ たとえ、自分が作ったスピーチであっても、違う大会にいくつも同じ原稿で参加することができないという理由も理解して、著作権というものを意識することができた。	

<音楽科より>

	学習の流れ	著作権に関わる指導
導入 課題	○ 「越天楽」を鑑賞する。(CD) 日本の伝統的な音楽「雅楽」であることを知る。	ネット上の内容や写真をそのまま写すことは著作権上違法であることを伝え、引用を載せることを伝える。
追究	日本の伝統音楽の素晴らしさを伝えよう。 ○ 雅楽を中心に、特に使われている楽器やその特徴についてネット上で検索し、パワーポイントにまとめる。日本の音楽の特徴についても、自分の思いをまとめる。	
まとめ	○ グループ交流会をする。	

	ホームページにアップする。	
成果と課題 著作権を意識しながら、レポート作成ができた。 安易にネット上の内容や写真をそのまま写してしまいがちなので、常に意識化させていくようにする。		

<美術科より>

実践1「情報収集及び情報活用にかかわって（題材 架空美術展の企画）」

	学習の流れ	著作権に関わる指導
導入 課題	○作品例を示す。 様々な作家の作品を鑑賞し、興味関心のある作家・作品について架空展覧会のリーフレットを作ろう。	※「作品・色の構成」「事実の引用の仕方」「企画の主張点」の視点で豊かなものを示し、生徒の興味・関心・意欲を高める。
展開	○自分の主張に必要な情報をネット上で検索する。 ○架空の展覧会の主張点となる内容を記録収集する。	【留意点】 ・ 情報源を明示させる。
終末	○「選択した作家・作品の何を伝えるのか相手意識をもって伝わりやすいレイアウト・色面構成になっているか」の視点で自分の構成を振り返る。	・ 情報の確かさについて吟味させる。 ・ 表現をコピーペーストとしないようにさせる。
成果と課題 ○一人の作家について、多様なネット上の情報を幅広く見つけ、画集の記述と比較して事実確認をするなど、「正しい情報」という意識をもって学習を進めることができた。 ▲安易に表現までも引用してしまう実態がまだある。		
成果と課題 ○自分の生活を見つめ、情報社会に生きる一人としての自覚を高めることができた。 ▲氾濫した情報の中に潜む危険性についての認識はまだ弱いと考えられる。		

実践2「作品の著作権の保護などにかかわって」 教材「卒業画集の制作」「鑑賞」

	学習の流れ	著作権に関わる指導
導入 課題	○学校の財産として、歴代卒業生の「画集」があることを紹介する。 先輩方が、卒業をむかえ残していった作品に込められた思いをモチーフの構成から感じ取ろう。	※イラスト・漫画にあるキャラクターや背景の処理について、著作権フリー素材のもや、侵害に値するものがあることを指導する。
展開		

終末	○卒業生の「画集」を見て、興味をもった先輩の作品を鑑賞する。 ○鑑賞交流を通して仲間から学んだことを元にして、自分の作品について願いをもつ。 ○「交流を通して先輩の作品や仲間の意見から学んだこと」をもとに、願いを象徴するモチーフを決定する。	【留意点】 ・印刷製本し、全員の財産になる作品づくりであることから、先輩の作品を大切に取り扱い扱うように指導する。
----	---	---

成果と意識

○学校で独自に印刷製本した作品集を利用して、限られた時間の中で有効に仲間の作品を鑑賞することができた。30年以上に渡る作品があるため、鑑賞する作品や願いの幅を広げることができた。

○学校の財産として残る「画集」であることから、今までよりも相手意識をもって、自己の願いを込めた作品を創ろう、残そうとする姿が見られた。

※誰もが勝手に触れることができることや、落書きといったマナー上の問題についての指導を徹底する必要がある。

<技術科より>

	学習の流れ	著作権に関わる指導
導入 課題	○世界各地での食事についての関心を持つ。	
追究	世界の食卓拝見をし、食文化について考えよう。 ○追究したい国を選ぶ。 ○各国の食事情や食卓の様子、特徴や豆知識を調べる。 図書やネット上で検索する。 ○日本の食卓について取材し、写真などをとる。	・調べた内容や写真をそのまま写すことは著作権上違法であることを伝え、引用を載せることを伝える。 ・取材した写真を扱うことに対し、権利者の立場を守ることについて指導する。
まとめ	○世界の食卓と日本の食卓を比べるなどして、世界の各国の食の特徴をまとめ、交流し合う。	

成果と課題

○著作権を意識し、情報を公開していくときの一つの方法を、実践を通して学ぶことができた。

●学校のホームページにまとめるなどを行うことで、個人の作品に著作権が生ずることへの意識を高められるといい。

<特殊教育より>

学習のねらい	学習活動	著作権に関わる指導
計画・準備	・作業着を身につけて準備をする。	・校内作品展で、イラストメモを販売す

・作業の準備をする。 ・作業の注意を確認する。 ・本時の作業内容を確認する。	・作業長の後に続いて作業の注意事項を読み、確認する。 ・展示販売をする前に、他人がかいた絵や写真を印刷して販売することについて考える。(著作権) ・一人一人の作業の内容を確認する。 ・各々の作業に必要なものを準備する。	・自分の作品が他人に印刷されて売られたら、どう思うか考える。 ・他人がかいたものを勝手に印刷して売することは、いけないことであることを伝える。 ・養護学級で印刷している「書」や「絵」は、昔、附属中にみえた先生がかかれたもので、校内作品展などで展示販売してもよいという了解をとっていることを伝える。
作業 ・確認しながら各々の作業を進める。 片付け・反省 ・自分の頑張りを振り返る。	イラストメモの袋詰と値札つけを丁寧に行おう。 (袋詰作業) ・イラストメモの向きを確認して、袋詰作業を丁寧に行う。 (値札付け) ・見本を参考にしながら、イラストメモの裏面の右下に値札を貼る。 ・作業の後片付けと清掃をする。自分の役割を果たしたら、他の人の仕事を手伝う。 ・本時行った作業の成果を確認する。本時の反省（主に頑張ったこと）を話す。	

(成果と課題)

○ 「自分の作品が他人に印刷されて売られたら、どう思う。」の質問に対して、「勝手に使われたらむなしい。(3年Kさん)」、「売っていいと言っていないのに、売られたらいや。(3年Aさん)」という感想があった。おそらく著作権という言葉や意味を知らない生徒たちであるが、自分の作品を使われた権利者の立場にたって、その心情を考えることができた。

△上記のような質問では、著作権について考えることが難しい生徒がいる。これから一人一人の生徒(養護学級)の実態に合った著作権教育のあり方を考えていかなければならない。